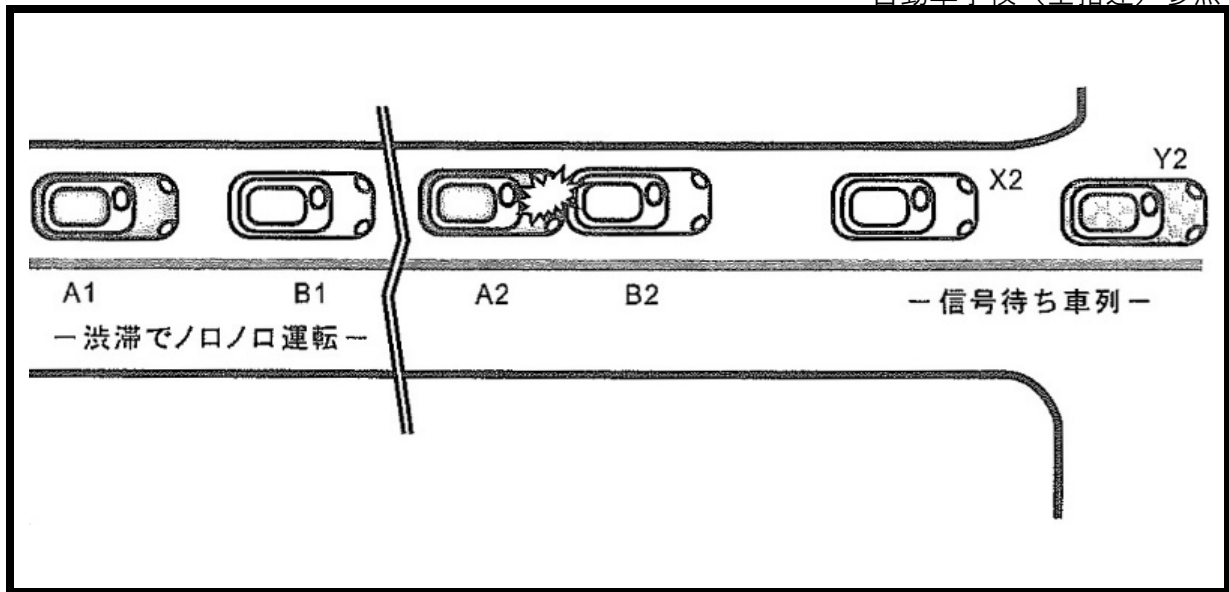


■事故の概況

自動車学校（全指連）参照



事故類型：追突

発生日時：10月 午後5時頃 晴れ

当事者A：普通乗用車 40歳代 男性

当事者B：普通乗用車 30歳代 男性

■ 事故の概要

Aは、毎日通行する道路を2～3km続く渋滞の中、前車のB車のあとを停止することはないが、時速30～40kmで減速、加速を繰り返していました。そのうち、ぼんやりと遠くの景色を見てしまい、気がつくとB車が停止しており、回避操作もできずに追突してしまいました。

■ 事故から学ぶ

Aは、ノロノロ運転ではあるが、停止することはないので、前車の停止を予測できなかったと考えられます。渋滞車両に混じってのノロノロ運転では、集中力が低下しがちになることは避けがたいものです。前方を注視していてもブレーキをかけ、ブレーキが効き始めるまでには数メートル走ってしまうことを常に念頭に置いておくことは、追突事故を防止するうえで大切なことです。